

「富士山学」文献目録＜文芸編＞

著者	天野 紀代子, 並木 由紀
出版者	法政大学国際日本学研究所
雑誌名	国際日本学
巻	2
ページ	165-180
発行年	2005-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10114/00022571

「富士山学」文献目録

<文芸編>

天 野 紀代子
並 木 由 紀

1、正岡子規「富士のよせ書」引用書目一覧

2、研究文献目録

富士山関係の文献資料は大量かつ多岐にわたり、研究文献もまた膨大なものである。そのうち今回公表するのはほんの一部に過ぎないが、文芸的側面からのアプローチに資するもの、という大枠でまとめた文献目録である。

その1は、明治23（1890）年に正岡子規が五百木瓢亭との共同作業で収集した「富士のよせ書」の引用書目一覧である。これは、主として江戸時代以前の古書から富士山に関する記述を抜粋、書き写したもので、『子規全集』第二十卷（講談社）に260ページにわたって収録されている。若い子規が何故こうした編纂を志したのかについては、明治二十年代の「日本学」を考える上でも興味深いことであるが、ここでは引用された原典166書目を明示し、所在を明らかにすることを目的とした。この「富士のよせ書」が、その後大正5年から刊行された『広文庫』に引用された富士山関係の文献と重なるところが少ないのは、物集高見・高量父子の目には入っていなかったからと思われ、また文学者・俳人の興味の対象が、地誌・紀行に限らず随筆・日記・小説・和歌・俳句といった文芸的作品にあったからでもあったろう。いずれにしても、あまり知られていない子規の選んだ富士山に関する資料を、ここに一覧として提示する。

その2は、富士山研究のうち、主として古代・中世の文芸に関わる研究文献目録である。「富士山記」「蓬萊山」「かぐや姫」「木花咲耶姫」「役行者」等々にまつわる先行研究の論文で、富士山をめぐる日本人の心性を、文芸的側面から探究するための前提となるべき目録一覧である。

1、正岡子規「富士のよせ書」引用書目一覧

※書名・著者名の《 》内は、国書総目録による名称。
著者名の【 】内は、当方で補った名称。

《地誌・紀行・随筆》

No.	書目	著者	所収	出版社	刊行年	成立年
1	駿州名勝志	川合長行	〈謄写本〉駿河叢書 二五	志豆波多会	1933-1935	天明3 (1783)
2	甲斐叢記	大森快庵	甲斐叢書六 他	第一書房	1974	嘉永4 (1851)、 前輯
3	駿河國誌	榊原長俊	〈謄写本〉駿河叢書 二六・二七	志豆波多会	1933-1935	天明3 (1783)
4	富士山洞窟紀行	久保田政弘				
5	東鑑 《吾妻鏡》		新訂増補国史大系 日本古典全集 他	吉川弘文館 日本古典全 集刊行会	1932-1933 1930	
6	鹽尻	天野信景	日本随筆大成三期 九 他	日本随筆大 成刊行会	1929-1931	
7	泊泊筆話	清水濱臣	日本随筆大成一期四 百家説林正編上 他	日本随筆大 成刊行会	1927-1931	
8	著作堂一夕話	瀧澤馬琴	日本随筆全集二 日本随筆大成一期五	国民図書 日本随筆大 成刊行会	1927-1930 1927-1931	享和3 (1803)
9	玄同放言	瀧澤馬琴	日本随筆大成一期三 日本随筆全集八 他	日本随筆大 成刊行会 国民図書	1927-1931 1927-1930	
10	伊せ物語		新編日本古典文学 全集 新日本古典文学大 系 他	小学館 岩波書店	1994 1997	
11	更級日記	菅原孝標女	新編日本古典文学 全集 新日本古典文学大 系 他	小学館 岩波書店	1994 1989	
12	十六夜日記	阿佛尼	新編日本古典文学 全集・中世日記紀 行集 新日本古典文学大系 ・中世日記紀行集 阿仏尼全集 他	小学館 岩波書店 風間書房	1994 1990 1958	
13	海道記	源光行 《作者未詳》	新編日本古典文学 全集・中世日記紀 行集 新日本古典文学大系 ・中世日記紀行集 他	小学館 岩波書店	1994 1990	貞応2 (1223) ?
14	宗長手記	釋宗長	群書類従・日記部 他	経済雑誌社	1893-1896	大永2-7 (1522- 1527)
15	女房艶語合	作者不知	〈写本〉宮書(二種、 八洲文藻三〇)			

No.	書目	著者	所収	出版社	刊行年	成立年
16	長明道記 《東関紀行》		新編日本古典文学 全集・中世日記紀 行集 新日本古典文学大系 ・中世日記紀行集 他	小学館 岩波書店	1994 1990	
17	身延道の記	僧元政	国文東方仏教叢書1 輯7巻・紀行 他	国文東方仏教 叢書刊行会	1925-1926	万治2 (1659)
18	春の深山路	飛鳥井雅有	新編日本古典文学 全集・中世日記紀 行集 他	小学館	1994	弘安3 (1280)
19	室町殿伊勢参宮記		統群書類従・一八 輯下 史蹟集覧新訂増補 ・11 他	統群書類従 完成会 臨川書店	1902-1911 1967	応永31 (1424)
20	富士紀行 (扶桑拾葉集)	釋堯孝	群書類従・紀行 他	経済雑誌社	1893-1896	永享4 (1432)
21	富士紀行 (扶桑拾葉集)	藤原雅世	群書類従・紀行 統帝国文庫24・紀 行文集・続 他	経済雑誌社 博文館	1893-1896 1909	永享4 (1432)
22	富士御覽日記	釋宗長	統帝国文庫37・紀 行文集・続々 他	博文館	1901	
23	正廣日記 (今古残葉)	釋正廣	統帝国文庫37・紀 行文集・続々 群書類従・紀行 他	博文館 経済雑誌社	1901 1893-1896	文明5 (1473)
24	東下の記	武者小路實陰公				
25	窓の曙	似雲法師	〈写本〉国会(「窓の 明保塾」、一冊)(今 古残葉の内)(異本) ・内閣 他			享保15 (1730)
26	回國雜記	釋道興	群書類従・紀行 他	経済雑誌社	1893-1896	
27	關東海道記(扶桑 拾葉集) 《富士歴覽記》	藤原雅康 《飛鳥井雅康 (宋世)》	群書類従・紀行 統帝国文庫37・紀 行文集・続々 扶桑拾葉集下 他	経済雑誌社 博文館 石塚猪男蔵	1893-1896 1909 1898	
28	宗祇終焉記	宗長	新日本古典文学大 系・中世日記紀行集 群書類従・雑 他	岩波書店 経済雑誌社	1990 1893-1896	文亀2 (1502)?
29	東國紀行	釋宗牧	統帝国文庫37・紀 行文集・続々 他	博文館	1901	天文13- 14(1544- 1545)
30	富士紀行 《紹巴富士見道記》	釋紹巴	群書類従・紀行 統帝国文庫24・紀 行文集・続 他	経済雑誌社 博文館	1893-1896 1909	永祿10 (1567)
31	總見院殿追善記	大村由己	群書類従・雑 日本歴史文庫 他	経済雑誌社 集文館	1893-1896 1911-1912	天正10 (1582)
32	あつまの道記 (扶桑拾葉集)	藤原光廣 《烏丸光広》	扶桑拾葉集下	石塚猪男蔵	1898	
33	吾妻のみちの記 (扶桑拾葉集)	豊臣勝俊 《木下勝俊》	挙白集八 扶桑拾葉集下	文献書院 石塚猪男蔵	1930 1898	天正18 (1590)?
34	澤庵和尚東關記 (扶桑残葉) 《東関紀行》		沢庵和尚全集3	巧芸社	1929	

No.	書目	著者	所収	出版社	刊行年	成立年
35	あづまの道の記	僧正尊海	続帝国文庫24・紀行文集・続群書類従・紀行 他	博文館 経済雑誌社	1909 1893-1896	天文2 (1533) 頃
36	難波紀行	京極長高	〈写本〉国会(今古残葉の内)(扶桑残葉集五) 他			
37	關東道の記 《關東路記》	烏丸光榮公	〈写本〉国会(扶桑残葉集の内、「打出の浜の記」・大阪市大森(「關東下向紀行」) 他			
38	東海道之記	小堀政一	〈写本〉国会(今古残葉の内)(扶桑残葉集八) 他			
39	あづまの道の記	藤原實晴母	〈写本〉宮書(八洲文藻六一)			
40	上田秋成にこたふる文	加藤宇萬伎	〈写本〉国会(扶桑残葉集17) 他			
41	道行きぶり	賀茂真淵	増補紀行文集 他	田中書店	1896	
42	將軍家御參宮紀行 《伊勢紀行》	堯孝	群書類従・紀行 他	経済雑誌社	1893-1896	永享5 (1433)
43	北國紀行	堯惠	新日本古典文学大系 他	岩波書店	1990	文明17 (1485)
44	東國陣道記	源藤孝				
45	東國紀行	源敦通	〈写本〉宮書(八洲文藻六〇)			
46	宗祇廻國記 《廻國雜記》	《道興》	群書類従・紀行 他	経済雑誌社	1893-1896	
47	丙辰紀行	林道春	続帝国文庫24・紀行文集・続続群書類従・一八輯下 他	博文館 続群書類従完成会	1909 1902-1911	元和2 (1616)
48	富士詣(日本行脚文集)	大淀三千風	紀行文集20 他	博文館	1909	貞享3 (1686)
49	驛路の鈴	遠藤數馬	〈版本〉東北大狩野・日比谷東京 他			安政5 (1858)
50	雁かね日記	海若子	〈版本〉内閣・静嘉 他			天保9 (1838)
51	旅日記	曲亭馬琴				
52	所歴日記	かく人不知	史料京都見聞記1	法蔵館	1991	寛文4 (1664)
53	東海道名所記	淺井了意	東洋文庫 日本古典全書・仮名草子集・下 他	平凡社 朝日新聞社	1979 1962	万治年間 (1658-1660)
54	木曾路の記	貝原益軒	益軒全集七 他	益軒全集刊行部	1910-1911	
55	白雲日記	八田知己	白雲日記 他	富山房	1903	
56	宇良富士紀行	蝶夢和尚				
57	平安紀行	源持資	群書類従・紀行 続帝国文庫37・紀行文集・続々 他	経済雑誌社 博文館	1893-1896 1909	

No.	書目	著者	所収	出版社	刊行年	成立年
58	紫の一本	戸田茂睡	新編日本古典文学全集・近世随想集 戸田茂睡全集 他	小学館 国書刊行会	2000 1915	天和3 (1683)、 奥書
59	不二紀行	寺田生	讀賣新聞附録	讀賣新聞社		
60	奥の細道	松尾芭蕉	新編日本古典文学全集・松尾芭蕉集2 他	小学館	1997	

《長歌・短歌・狂歌・狂句》

No.	書目	詠者	所収	出版社	刊行年	成立年
61	萬葉集	山部赤人 他	新編日本古典文学全集 新日本古典文学大系 新編国歌大観2 他	小学館 岩波書店 角川書店	1994-1996 1999-2003 1984	
62	古今和歌集	紀貫之 他	新編日本古典文学全集 新日本古典文学大系 新編国歌大観1 他	小学館 岩波書店 角川書店	1994 1989 1983	延喜13-14 (901-902)
63	後撰集	平貞文 他	新日本古典文学大系 新編国歌大観1 他	岩波書店 角川書店	1990 1983	天曆5 (951)
64	拾遺集	人丸 他	新日本古典文学大系 新編国歌大観1 他	岩波書店 角川書店	1990 1983	寛弘頃 (1004-1011)
65	後拾遺集	相模 他	新日本古典文学大系 新編国歌大観1 他	岩波書店 角川書店	1994 1983	応徳3 (1086)
66	詞花集	大江嘉言 他	新日本古典文学大系 新編国歌大観1 他	岩波書店 角川書店	1989 1983	仁平年間 (1151-1153)
67	千載集	大炊御門右大臣 他	新日本古典文学大系 新編国歌大観1 他	岩波書店 角川書店	1993 1983	文治3 (1187)
68	新古今集	前大僧正慈圓 他	新編日本古典文学全集 新日本古典文学大系 新編国歌大観 他	小学館 岩波書店 角川書店	1995 1992 1983	元久2 (1205)
69	新勅撰集	平泰時 他	新編国歌大観1 岩波文庫	角川書店 岩波書店	1983 1961	天福2 (1234)
70	續後撰集	家隆 他	新編国歌大観1 他	角川書店	1983	建長3 (1251)
71	續古今集	後鳥羽院 他	新編国歌大観1 他	角川書店	1983	文永2 (1265)
72	續拾遺集	登蓮法師 他	新編国歌大観1 和歌文学大系 他	角川書店 明治書院	1983 2002	弘安元 (1278)
73	新後撰	衣笠内大臣 他	新編国歌大観1 他	角川書店	1983	嘉元元 (1303)
74	玉葉集	後鳥羽院 他	新編国歌大観1 新編日本古典文学全集・中世和歌集 (抄) 他	角川書店 小学館	1983 2000	正和元 (1312)
75	續千載集	前大僧正道性 他	新編国歌大観1 他	角川書店	1983	

No.	書目	詠者	所収	出版社	刊行年	成立年
76	續後拾遺集	俊頼 他	新編国歌大観 1 和歌文学大系 他	角川書店 明治書院	1983 1997	正中2 (1325)
77	風雅集	清輔 他	風雅和歌集全注釈 新編日本古典文学 全集・中世和歌集(抄) 新編国歌大観1 他	笠間書院 小学館 角川書店	2002-2004 2000 1983	貞和5 (1349)
78	新千載集	中宮大夫公 宗母 他	新編国歌大観1 他	角川書店	1983	延文4 (1359)
79	新拾遺集	權大納言義詮 他	新編国歌大観1 他	角川書店	1983	貞治3 (1364)
80	新後拾遺集	卜部兼直 他	新編国歌大観1 他	角川書店	1983	永徳3 (1383)
81	新續古今集	從三位雅家 他	新編国歌大観 1 和歌文学大系 他	角川書店 明治書院	1983 2001	永享11 (1439)
82	伊せ物語		新編日本古典文学 全集 新日本古典文学大系 他	小学館 岩波書店	1994 1997	
83	十六夜日記	阿佛尼	新編日本古典文学 全集・中世日記紀 行集 新日本古典文学大 系・中世日記紀行集 阿仏尼全集 他	小学館 岩波書店 風間書房	1994 1990 1958	
84	堀河院百首	河内 他	和歌文学大系 堀河院百首和歌全釈 新編国歌大観4 他	明治書院 笠間書院 角川書店	2002 1997 1986	
85	拾遺愚草	定家	藤原定家全歌集上 新編国歌大観3 他	河出書房新社 角川書店	1985 1985	天福元－ (1233－)
86	新葉集	前大納言光任 他	新編国歌大観 1 新編日本古典文学 全集・中世和歌集 (抄) 他	角川書店 小学館	1983 2000	弘和元 (1381)、 奏覧
87	法勝寺の十首會の 雪	俊成卿 他	日本古典文学大系 ・平安鎌倉私家集 (長秋詠藻) 新編国歌大観3 他	岩波書店 角川書店	1964 1985	
88	鎌倉右大臣家集 《金槐和歌集》	源実朝	新編日本古典文学 全集・中世和歌集 他 新編国歌大観4 他	小学館 角川書店	2000 1986	
89	爲家集	藤原爲家	藤原爲家全歌集 新編国歌大観7 藤原爲家全歌集 他	風間書房 角川書店 武蔵野書院	2002 1989 1962	文永8－ (1271－)
90	六百番歌合	女房 他	新日本古典文学大系 新編国歌大観5 他	岩波書店 角川書店	1998 1987	建久4 (1193)
91	草庵集	頼阿	新編国歌大観4 他	角川書店	1986	
92	伊勢海 《和歌伊勢の海》	順徳院	〈版本〉享保5版－ 国会・大阪市大森 他			天文10 (1541)、 奥書
93	藤原親房卿集	藤原親房				
94	義政公集	源義政				
95	太閤記	豊臣秀吉	新日本古典文学大 系 他	岩波書店	1996	

No.	書目	詠者	所収	出版社	刊行年	成立年
96	新明題和歌集	尊敬 他	新編国歌大観6 近世和歌撰集集成2 他	角川書店 明治書院	1988 1987	
97	太田道灌和歌集	太田道灌				
98	鳥の跡	梨本茂暉 他	新編国歌大観6 他	角川書店	1988	天禄13 (1700)、序 元禄15 (1702)、刊
99	淨光院法師堯孝集	堯孝	新編国歌大観8 群書類従・和歌 他	角川書店 経済雑誌社	1990 1893-1896	
100	宗祇回國記 《回國雜記》		群書類従・紀行 他	経済雑誌社	1893-1896	
101	詠富士山百首和歌	契沖	契沖全集七 他	朝日新聞社	1927	
102	逍遊集 《貞徳歌集》	松永貞徳	新編国歌大観9 他	角川書店	1991	延宝5 (1677)
103	岡の屋集					
104	小野古道家集	小野古道 (長谷川謙益)	続日本歌学全書八	博文館	1898-1899	
105	楫取魚彦歌集	楫取魚彦 (俗名茂左衛門)	新編国歌大観9 他	角川書店	1991	
106	橘千蔭翁家集	橘千蔭				
107	俳諧歌麴	桃亭茂々柿人 他	〈版本〉国会・東博 ・慶大 他			文化13 (1816)
108	狂歌旅枕	よみ人不知	〈版本〉国会・岩瀬 他			天和2 (1682)
109	狂歌江戸名所圖會	瀧磨 他	〈版本〉国会・東博 ・早大 他			安政3 (1856)
110	江都日千兩 《江戸日千兩》	樂月庵 他	〈版本〉国会・東博 ・慶大・東大 他			嘉永6-安 政元 (1853- 1854)
111	卜養狂歌集	蜀山人 他	新群書類従・10 日本名著全集・狂 文狂歌集 他	国書刊行会 日本名著全 集刊行会	1906-1908 1929	
112	狂歌扶桑集	跡成 他	〈版本〉早大・日比 谷加賀 他			天保年間 (1830- 1843)
113	狂哥才藏集	門田伊奈波 他	新日本古典文学大系 他	岩波書店	1993	天明7 (1787)
114	狂哥類題後杓子栗	湖鯉鮒 他	江戸狂歌本選集11 他	東京堂出版	2001	
115	天明狂哥集	樵哥亭笛成 他	〈版本〉東大			
116	狂哥江戸砂子 《江戸砂子集》	千金亭 他	〈版本〉国会・東大 他			文化8 (1811)
117	滑稽發句類題集	卜養	近代日本文学大系 ・川柳狂歌集 他	国民図書	1928	文化14 (1817)、 初編 天保2 (1831)、 二編
118	繪口合《画口合》	東海道華亭 他	〈写本〉大阪府			

《小説・音曲》

No.	書目	著者	所収	出版社	刊行年	成立年
119	竹取物語		新編日本古典文学全集 新日本古典文学大系 他	小学館 岩波書店	1994 1997	
120	平家物語		新編日本古典文学全集 新日本古典文学大系 他	小学館 岩波書店	1994 1991-1993	
121	戀女房染分手綱		名作歌舞伎全集4 他	東京創元新社	1970	
122	夜討曾我(謡曲)		謡曲大観5 他	明治書院	1931	
123	百日曾我	近松	近松全集3 他	岩波書店	1986	
124	曾我會稽山	近松	新編日本古典文学全集・近松門左衛門集3 近松全集10 他	小学館 岩波書店	2000 1989	享保3 (1718)、 初演
125	箏曲 芙蓉峰					
126	清元 新玉琴春壽					
127	清元 梅の春	《梅廼門主人》	続帝国文庫36・俗曲大全 日本音曲全集3・清元全集 日本歌謡集成11・柏葉集 他	博文館 日本音曲全集刊行会 東京堂出版	1901 1928 1980	文政10 (1827)
128	清元 色山解深川	《二世松井由輔》	続帝国文庫36・俗曲大全 日本音曲全集3・清元全集 日本歌謡集成11・柏葉集 他	博文館 日本音曲全集刊行会 東京堂出版	1901 1928 1980	文政5 (1822)、 初演
129	清元 江戸櫻衆袖土産	《二世松井幸三》	日本音曲全集3・清元全集 日本歌謡集成11・柏葉集 他	日本音曲全集刊行会 東京堂出版	1928 1980	
130	長唄 娘道成寺		〈版本〉天理(かなわ等と合一冊)			
131	富士嶽 高子觀遊記					
132	雲遊文蔚	瑞泉墨菴	〈版本〉国会・内閣・静嘉 他			享和2 (1802)
133	登富士山記	澤元愷弟侯父《平沢元愷》	増補紀行文集	田中書店	1896	
134	峡中紀行	荻生徂徠	甲斐志料集成一 他	甲斐志料刊行会	1932	宝永3 (1706)
135	東遊日祿	豊島毅	東遊日録		1878	弘化3 (1846)
136	遊豆紀勝	安積良斎	紀行日本漢詩3 他	汲古書院	1992	
137	富士山記	都良香	日本古典文学大系(本朝文粹) 他	岩波書店	1964	
138	題富士山圖	古賀侗庵				
139	蓮岳晴雪	鹽谷宕陰				

No.	書目	著者	所収	出版社	刊行年	成立年
140	夢登富岳記	齋藤拙堂				
141	梅花無盡藏	漆桶萬里 《万里集九》	統群書類従・一二 輯下 他	統群書類従 完成会	1902-1911	
142	祭雪別草					
143	詞林採集					
144	古今集序文	【紀貫之】	新編日本古典文学 全集 新日本古典文学大 系 他	小学館 岩波書店	1994 1989	延喜 13-14 (901- 902)
145	窓の曙跋	藤原實積	〈写本〉国会(「窓の 明保塾」、一冊)(今 古残葉の内)(異本) ・内閣 他			享保15 (1730)
146	富士山	林道春				
147	富士記	野々口立圃				
148	續東の紀行	野々口立圃				
149	桃の實	兀峰選	焦門俳書集4 校註俳文学大系・ 七部集総覧編一 他	勉誠社 大鳳閣書房	1983 1929	元禄6 (1693)、 跋
150	不盡の嶺の詞	村田春郷				
151	富士の賦	松倉嵐蘭				
152	山水の譜	森川許六				
153	土峰讀	松尾芭蕉				
154	富士畫讀	田中友水				
155	富士に題す	長坂長恭				
156	富士禪定	秋風庵月化				
157	雪請序	横井也有				
158	望嶽樓記	横井也有				
159	田子庵記	横井也有				
160	旅賦	横井也有				
161	夢祝ひの頌	五升庵蝶夢				
162	畫本古今男	杉村治信				
163	隅田川往來		往来物大系59 日本教育文庫・教 科書篇 他	大空社 同文館	1993 1910	
164	雪水	青木昆陽				
165	假名世説	太田南畝	新日本古典文学大系 有朋堂文庫・太田 南畝集 他	岩波書店 有朋堂書店	2000 1928	文政8 (1825)
166	鶉衣	横井也有	近代日本文学大系 ・狂文俳文集 他	国民図書	1928-1929	

《凡例》

※版本・写本等の所収の略称について

国会	国立国会図書館
内閣	国立公文書館内閣文庫
静嘉	静嘉堂文庫
東博	東京国立博物館
大阪市大森	大阪市立大学森文庫
慶大	慶應義塾大学

東大	東京大学
東北大学	東北大学
早大	早稲田大学
大阪府	大阪府立中之島図書館
日比谷東京	東京都立中央図書館東京誌料
日比谷加賀	東京都立中央図書館加賀文庫
岩瀬	西尾市立図書館岩瀬文庫
天理	天理図書館

2、研究文献目録

論文タイトル	著者	掲載誌	巻	号	年	月	出版社	注記
《竹取物語》《かぐや姫》								
『竹取物語』の富士山	鷺山茂雄	平安朝文学研究	11		2002	12		
法華経直談書にみえる「かぐや姫の伝承」	鈴木佐内	和洋国文学研究	37		2002	3		
『竹取物語』『富士の煙』攷—反魂香影響説をめぐって	藤田景子	東京女子大学日本文学	97		2002	3		
『竹取物語』の「富士の煙」—郊祀祭天の儀との関わりから	山根啓子	平安朝文学研究	9		2000	12		
『竹取物語』と神仙思想—見捨てられた不死薬	岡部明日香	中古文学論攷	20		2000	3		
第二章 第五節 富士の煙考	奥津春雄	竹取物語の研究—達成と変容—			2000	2	翰林書房	初出「立ち上る富士の煙」(「まひる野」49巻9号1994年9月)
第五章 第一節 中世竹取説話総説	奥津春雄	竹取物語の研究—達成と変容—			2000	2	翰林書房	初出「三つの難題と鶯姫と—竹取説話考序説」(「徳島文理大学文学論叢」1号 1984年3月)
第五章 第二節 今昔物語集の竹取説話	奥津春雄	竹取物語の研究—達成と変容—			2000	2	翰林書房	初出「今昔物語集所載竹取説話の成立」(「平安朝文学研究」3巻2号 1971年12月)
第五章 第三節 海道記の竹取説話	奥津春雄	竹取物語の研究—達成と変容—			2000	2	翰林書房	初出「海道記の竹取説話」(「早稲田実業学校研究紀要」10号 1975年12月)
第五章 第四節 室町末期の竹取説話—形見の鏡の成立—	奥津春雄	竹取物語の研究—達成と変容—			2000	2	翰林書房	初出「室町末期の竹取説話—付、形見の鏡の成立—」(「徳島文理大学文学論叢」2号 1985年3月)

論文タイトル	著者	掲載誌	巻	号	年	月	出版社	注記
第五章 第五節 源氏物語提要の竹取 説話	奥津春雄	竹取物語の 研究—達成 と変容—			2000	2	翰林書房	初出「竹取物語小 考」(「まひる野」 40巻9号 1983年 9月)
恋の煙と入窟譚— 中世かぐや姫異聞/ 中世竹取説話と富士 信仰	池原真 内田康	神語り研究	5		1999	11		
かぐや姫の素姓と「昇 天」—現行『竹取物語』 は中世の改作本か	妹尾好信	研究講座 竹取物語の 視界			1998	5	新典社	
木花佐久夜姫とかぐや 姫との関連について	江夏有香	筑紫語文	2		1993	11		
竹取物語と漢詩文— 月をめぐる—	高橋亨	国文学	38	4	1993	4	学燈社	
竹取物語と富士信仰	宮田登	国文学	38	4	1993	4	学燈社	
竹取物語から説話・ 昔話へ	高木史人	国文学	38	4	1993	4	学燈社	
竹取物語と民俗	林田孝和	国文学	38	4	1993	4	学燈社	
作り物語と説話	高橋亨	説話の講座 第六巻 説話とその 周縁—物語 ・芸能—	6		1993	3	勉誠社	
かぐや姫の光と影	梅山秀幸	かぐや姫の 光と影— 物語の初め に隠された こと			1991	5	人文書院	
特集・竹取物語 パロディとしての富士	外山滋比古	ビューかん ざき	65		1992	5		
特集・竹取物語 不老不死の造形— 不死の山「崑崙」への 航海	武田雅哉	ビューかん ざき	65		1992	5		
竹取物語評解	三谷栄一				1988	9	有精堂出版	
竹取説話群における 〈乗馬里説話〉の位相 —富士浅間信仰にみ られる巫女的なるも のの表出	皆川陽子	神語り研究	1		1986	11		
竹取物語“富士の山” をめぐる一試論	小嶋業温子	中古文学	37		1986	6		
竹取物語断簡新出二 葉-(付)延べ書き 「富士山記」-	高田信敬	国文学研究 資料館紀要	10		1984	3		
竹取物語と神仙譚— 文人と物語・〈初期 物語成立史階梯〉-	渡辺秀夫	日本文学	32	3	1983	3		
竹取物語と中世竹取 翁伝説—姫の結婚と 結婚拒否の間—	田口守	中古文学	23		1979	4		

論文タイトル	著者	掲載誌	巻	号	年	月	出版社	注記
竹取物語と今昔物語の竹取説話	藤村潔	古代物語研究序説			1977	6	笠間書院	
『竹取物語』と道教と	加地伸行	国語と国文学	53	6	1976	6		
「竹取物語」と竹取説話	桂木寛子	児童文芸	20	11	1974	11		
かぐや姫の誕生 古代説話の起源	伊藤清司				1973	2	講談社	現代新書
竹取物語と神仙思想	武田祐吉	解釈と鑑賞	23	2	1958	2	至文堂	
竹取翁	柳田国男	国語国文			1934	9		『柳田国男全集8』(ちくま文庫)
海道記の本文を混乱せしめたる「附記」	加藤惣一	文学	1	3	1933	6	岩波書店	
《富士山記》								
都良香作「富士山記」について—中国六朝文学との関連から—	中条順子	古代文化	33	8	1981	8		
《都良香》								
仙人都良香考—日本の成仙術について	松田智弘	日本書紀研究	21		1997	6		
学者と伝承巷説—都良香を中心にして—	大曾根章介	文学・語学	52		1969	6		
《富士登山》								
評論文 神々を統べる神—富士登山の意味するもの	西谷博之	女子聖学院短期大学創立30周年記念論文集			1998	3		
《聖徳太子》								
聖徳太子の富士登山説話について	渡辺信和	国文学論考	34		1998	3		
聖徳太子の富士登岳説話の成立と地域的展開	久野俊彦	説話と伝承と略縁起			1996	5	新典社	
地方と説話—聖徳太子伝記類における地域の特定をめぐる—	渡邊信和	説話文学研究	26		1991	6		
聖徳太子伝と日本文学	川口久雄	解釈と鑑賞	54	10	1989	10	至文堂	
富士信仰と御師	久野俊彦	上吉田の民俗			1989	3	富士吉田市	
富士の絵 1 聖徳太子絵伝の富士	成瀬不二雄	日本美術工芸	580		1987	1		
「聖徳太子飛翔説話」成立序説—「甲斐の黒駒」と「夢殿」をめぐる—	松尾雅裕	国学院雑誌	85	1	1984	1		
『三国伝記』「富士山事」—聖徳太子巡暦説話を中心に—	南里みち子	福岡女子短期大学紀要	9		1975	3		
聖徳太子と神仙説話	林幹弥	国史学(国学院大)	53		1950	10		

論文タイトル	著者	掲載誌	巻	号	年	月	出版社	注記
《末代上人》								
富士曼荼羅と經典埋納	三宅敏之	修験道の美術・芸能・文学(Ⅰ)			1980	6	名著出版	
《浅間大菩薩》								
真名本『曾我物語』における久能と富士浅間大菩薩—梶原氏との関わりを通して	大川信子	常葉学園短期大学紀要	27		1996	10		
《富士山》《和歌》								
万葉・古今・新古今に富士山はどう詠まれたか	兼築信行	国文学	49	2	2004	2	学燈社	特集：富士山ネットワーク
後鳥羽院の富士山の歌	久保田淳	文学	3	2	2002	3	岩波書店	
高橋虫麻呂の「富士の山を詠む歌」	西地貴子	武庫川国文	58		2001	9		
虫麻呂の富士の山の歌	菅野雅雄	万葉の歌人と作品	7		2001	9	和泉書院	
赤人の富士の山の歌	坂本信幸	万葉の歌人と作品	7		2001	9	和泉書院	
〈講演〉 山部赤人の富士の山を望む歌をめぐって	坂本信幸	万葉の三大歌人			1999	3	高岡市万葉歴史館	
「天雲」と「白雲」—富士山の歌における	岡内弘子	香川大学国文研究	23		1998	9		
山部赤人—「富士山歌」の論	尾崎富義	常葉学園短期大学紀要	27		1996	10		
風土の中の万葉集2—〈み熊野の浜木綿・沖つ白玉・富士の高嶺の鳴沢〉	嶋津聿史	国文学	41	6	1996	5	学燈社	
天の原富士の柴山	加藤静雄	万葉の風土・文学			1995	6	塙書房	
《富士山》の誕生—山部赤人の「望不尽山歌」論のために	梶川信行	近畿大学教養部研究紀要	25	2	1993	12		
富士山の歌—新古今歌人の場合	久保田淳	国語と国文学	64	5	1987	5		
藤原定家の富士山の歌	久保田淳	UP	173		1987	3		
古典秀歌鑑賞富士の高嶺に	家郷隆文	短歌	33	8	1986	8		
万葉集作者未詳の富士山歌考	松原博一	日本大学精神文化研究所紀要	16		1985	3		
富士山の詩(うた)	木津文彦	静岡大学教育学部研究報告(人文・社会)	35		1985	3		
作者未詳の富士山歌について(上)	松原博一	語文(日本大学)	44		1978	3		

論文タイトル	著者	掲載誌	巻	号	年	月	出版社	注記
東歌「富士の高嶺の 鳴沢」考	島津聿史	語文(日本 大学)	42		1976	11		
(新古今集講話21) 天の原富士の煙の	佐藤美知子	あけぼの	7	2	1974	4		
富士(万葉集特講88)	市村宏	次元	15	2	1969	2		
《富士山》								
富士山の文学	久保田淳				2004	10	文藝春秋	文春新書
富士山と文芸文化	久保田淳	国文学	49	2	2004	2	学燈社	特集：富士山ネ ットワーク
平安時代の富士山— あこがれとおそれの あいだで	和田律子	富士山と 日本人			2002	5	青弓社	
『曾我物語』(真名本) の王権と救済—表徴 としての富士	会田実	文学	2	3	2001	5	岩波書店	
室町時代の富士図扇面 —五山僧の見た富士山	片桐弥生	日本文化研 究(静岡県 立大学短期 大学部)	13		2001	1		
『富士山縁起』解題・ 翻刻	石川透	むろまち	4		2000	3		
真名本『曾我物語』の 生成基盤—富士浅間の 客人宮への示現を めぐって	二本松康宏	中世文学	44		1999	5		
常葉学園短期大学 公開講座論集 『富士山をよむ』	繁原央	常葉国文	21		1996	12		
富士山歴史散歩	遠藤秀男				1996	7	羽衣出版	
富士—信仰・文学・ 絵画	影山純夫	山口大学教 育学部研究 論叢(人文 ・社会)	45		1995	12		
鎌倉時代の富士図に ついて	成瀬不二雄	国華	1188		1994	11		
地名散策第三十九回 富士山 火の山富士 と田児の浦	高橋良雄	新日本古典 文学大系 (月報)	54		1994	7	岩波書店	59巻『舞の本』、 月報54号
宝鎮としての富士山	広岡義隆	中京大学上 代文学論究	2		1994	3		
富士山の噴火と古典 文学	都司嘉宣	図書館の窓	32	6	1993	9		
富士信仰と文芸	久野俊彦	解釈と鑑賞	58	3	1993	3	至文堂	
描かれた富士の信仰 世界					1993			富士吉田市歴史 民俗博物館企画 展図録
「伊勢物語」と烏丸光 広についての続考— 伊勢物語九段「東下 り」〈富士の山〉と〈角 田河〉を中心に	橘りつ	東洋	29	6	1992	6		

論文タイトル	著者	掲載誌	巻	号	年	月	出版社	注記
平清盛と東国—富士山と日本人	多賀宗準	日本歴史	513		1991	2		
清盛の素顔一付、まぼろしの富士参詣	浅見和彦	国語展望	83		1989	10		
室町後期の説話と、お伽草子	徳田和夫	お伽草子研究			1988	12	三弥井書店	初出「国語国文論集」16号 1987年3月
富士山：史話と伝説	遠藤秀男				1988	8	名著出版	
富士浅間信仰	平野栄次				1987	6	雄山閣出版	
富士の絵 3 伊勢物語絵の富士	成瀬不二雄	日本美術工芸	582		1987	3		
富士の絵 2 一遍聖絵と遊行上人縁起絵	成瀬不二雄	日本美術工芸	581		1987	2		
富士の人穴草子研究と資料	小山一成				1983		文化書房博文社	
富士信仰の展開	宮田登	日本文化史研究：芳賀幸四郎先生古稀記念			1980	5	笠間書院	
「富士と筑波」の説話について	久保田美穂	上代文学研究会会報	6		1978	12		
富士信仰の成立と村山修験	遠藤秀男	富士・御獄と中部霊山			1978	4	名著出版	
浅間と富士—伊勢物語「東下り」小考—	山本登朗	国語国文	46	8	1977	8		
“富士と筑波”考	植垣節也	国文学（関西大学）	52		1975	9		
富士山	森下晶				1974	3	講談社	現代新書
富士の歴史	井野辺茂雄				1973	8	名著出版	富士の研究／浅間神社社務所編；1
浅間神社の歴史	宮地直一 広野三郎				1973	8	名著出版	富士の研究／浅間神社社務所編；2
富士の信仰	伊野邊茂雄				1973	8	名著出版	富士の研究／浅間神社社務所編；3
富士の文学	高柳光寿				1973	8	名著出版	富士の研究／浅間神社社務所編；4
富士の白雪	森脇一夫	上代文学	29		1971	10		
〈文学と風土 9〉富士浅間信仰のメッカ室の八鳥と唱導文学	細矢藤策	解釈	17	5	1971	5		
「富士紀行」と「覧富士記」	白井忠功	立正大学文学部論叢	29		1967	11		
「富士御覧日記」考—中世紀行文学研究—	白井忠功	立正大学国語国文	5		1966	3		
富士山考(上)《古典文学地理 #37》	長谷章久	国文学	7	1	1961	12	学燈社	
富士筑波(常陸国風土記)	武田祐吉	解釈と鑑賞	6	3	1941	3	至文堂	
富士山文学(山の文学)	石津純道	解釈と鑑賞	5	10	1940	10	至文堂	
取材と中世思想の深化—富士再認時代の文学について—	斎藤清衛	国語と国文学	8	8	1931	8		

論文タイトル	著者	掲載誌	巻	号	年	月	出版社	注記
《木花之佐久夜毘売》								
神阿多都比売と木花之佐久夜毘売—神名の接続と神話の構想	阿部誠	古事記研究大系	5	1	1998	6	高科書店	
死の起源説明神話における木花之佐久夜毘売と石長比売—その名称をめぐって	及川智早	古事記研究大系	5	1	1998	6	高科書店	
木花之佐久夜毘売	林田正男	筑紫古典文学の世界 上代・中古			1997	9	おうふう	
神話と桜—木花之佐久夜毘売と死の起源神話	三浦佑之	国文学	42	5	1997	4	学燈社	
木花之佐久夜毘売の神話—石長比売と短命起源譚	橋本利光	古事記年報	37		1995	1		
石長比売と木花之佐久夜毘売—神話にみる女の美と醜	金井清一	解釈と鑑賞	52	11	1987	11	至文堂	
「木花之佐久夜毘売」説話にみられる「無常感」生成の過程	長田マサ子	古代ノート	10		1968	4		
《役行者》								
処刑と富士明神	志村有弘	鬼人 役行者小角			2001	8	角川書店	角川文庫
役小角読本	藤巻一保				2001	5	原書房	
役行者と修験道の歴史	宮家準				2000	7	吉川弘文館	歴史文化ライブラリー；98
外伝役小角：夜叉と行者	黒須紀一郎				1997	10	作品社	
異界の人々	黒須紀一郎				1996	9	作品社	
役行者伝記集成	銭谷武平				1994	12	東方出版	「役行者伝記文献目録」を所収
役小角説話の形成	丸山顕徳	日本霊異記：土着と外来			1986	6	三弥井書店	